

思っていたより気軽に受けられました。
12月中にぜひ健診を！



その他
医師が必要と認めた場合は、心電図と眼底検査を追加で行います。

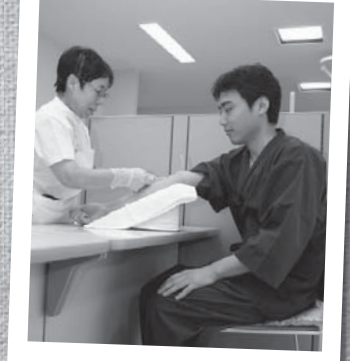
※検査の順番は例です。実際の健診では異なる場合があります。

▶ 実際は衣服の一部を脱いで測定します。

尿検査・腹囲測定



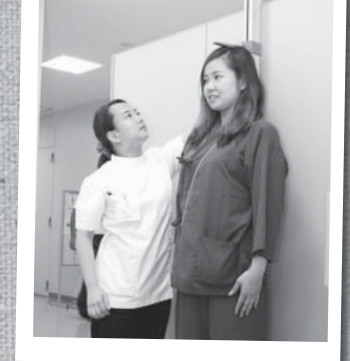
血液検査



血圧測定



身体測定・診察



広報担当者が
「健診」
を受けてきました

同じ症状でも大きな差に
**少しの意識の違いで
健康も医療費も大きく変わります！**

健診は受診して終わりではありません。その後どうするか、生活環境で健康状態や医療費は大きく変わります。
ここでは、健診で「高コレステロール」と指摘された2人の「実例」を紹介します。

「そのままのAさん」

病院へ行かず
家でゴロゴロ
脂っぽい食事や
晩酌を欠かさない
以前と同じ生活



その結果…

**2年後、
心筋梗塞で
大手術へ！**



初めて受診した月の医療費は
注射、手術、入院費など

合計 11,819,960 円

「そのままのAさん」は、
「病院へ行ったBさん」に比べ、

「病院へ行ったBさん」

さっそく病院へ行き、
脂質異常症と診断される

食生活の見直し
ウォーキングを始める
メリハリのある生活



その結果…

**1年後には要観察、
2年後には正常値に！**

初めて受診した月の医療費は
初診料、検査料など

合計 5,940 円

医療費は約2,000倍！

※保険を適用しない場合

今年のラストチャンス

**12月は
「追加健診」へ**

特定健診の実施期間は6月～9月です。この期間に受診できなかった人のために、12月に追加健診を実施しています。今年の健診は12月で最後になります。受診していない人は忘れずに受診しましょう。

2市1町は内容が充実

2市1町では、検査項目に「腎機能・貧血・尿酸値検査」「尿潜血検査」が追加されていて、充実した内容で健診を受けることができます。

**「要受診」「経過観察」と
言われたら**

要受診…必ず健診結果を持って医療機関で受診してください。医師の指導に従って生活習慣を改善し、ときには薬の使用が必要になることもあります。
経過観察…生活習慣病を予防するために生活習慣を改善することが大切です。

「喫煙している」「検査値が異常値に近づいている」などの人は要注意です。今のうちから生活習慣の改善に取り組みましょう。

先生からのアドバイス

自分や家族皆さんの幸せのために、
特定健診をぜひ受診しましょう。

- あなたは、今、健康ですか？
- 「私は病気とは無縁」と思っていますか？
- 40歳を過ぎると、何かしら少しずつ体に変化が出てくるものです。自治体が補助をして実施している特定健診を面倒と思わずに毎年受診しましょう。
- 年に1度、たったの数時間を家族のため、自分のために使しましょう。その結果、「異常なし」と判定されれば次の年まで自信を持って生活できます。もし、「経過観察」と判定されたら生活習慣を見直して体調を整えましょう。万が一異常が見つかったも早期発見・早期治療で医療費の負担が減ります。重症化してからでは治療に多額の費用が掛かり家計を苦しめます。全て“家族の幸せ”につながります。あなたが元気で活躍できるために特定健診をぜひ受診しましょう。

田方医師会会長
紀平クリニック
紀平章代 先生